

小項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立多治見病院

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)
02	<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師の業務のさらなる緩和を図るために、計画的な医師事務作業補助者の採用に努め、「25:1」補助体制加算の早期導入を進める。 看護師については、夜間専従看護師の採用、部分休業や短時間勤務の推奨により、ライフスタイルに柔軟に対応した勤務体制を整え、必要な人材の確保に努める。 職務に専念できる職場環境整備の一環として、院内保育所での夜間保育及び病児保育について、保護者の意見を尊重した保育内容の検討を行う。 	<p>(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助者を24名から27名に増員し、さらに医師から要望の強かった病棟にも1名を配置して医師の過密業務の軽減を図り、補助体制加算は昨年度の30:1から25:1となった。 夜勤専従看護師の配置 <ul style="list-style-type: none"> 救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師（非常勤職員）の制度化を行い、救命救急センターに1名を採用した。 また、正規職員においても、職員の意見を十分に汲み取りながら勤務表の作成を行った。 短時間就労制の実施 <ul style="list-style-type: none"> 働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案し、週20時間未満の勤務をしている非常勤職員が10名在職している。 平成25年4月から民間会社に保育業務を委託し、夜間保育及び休日保育を開始するとともに、病児保育の利便性を向上させた。 <p>【夜間保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎週金曜日に対応可能 平成25年度実績12回 <p>【休日保育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 12月31日～1月3日を除く全ての日に対 	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>医療事務作業補助者を増員し、補助体制加算を達成するとともに、病児保育利用実績が大幅に増加しており、高く評価できる。</p> <p>IIIのまま</p> <p>働きやすい環境の整備に努めているものの、年度計画どおりとする。</p>	<p>「IV」</p> <p>医療事務作業補助者を増員し、補助体制加算を達成するとともに、夜勤専従看護師の配置など努力がみられる。病児保育利用実績の大幅な増加も非常に高く評価できる。</p>

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																							
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																						
		応可能 ・平成25年度実績92回 【院内保育所の運営状況】 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>44人</td> <td>37人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>9人</td> <td>8人</td> <td>委託先にて 必要人数を 配置</td> </tr> </tbody> </table> 【病児保育利用実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延人数</td> <td>12人</td> <td>20人</td> <td>84人</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	入所者数	44人	37人	36人	保育士数	9人	8人	委託先にて 必要人数を 配置	区分\年度	H23	H24	H25	延人数	12人	20人	84人					
区分\年度	H23	H24	H25																								
入所者数	44人	37人	36人																								
保育士数	9人	8人	委託先にて 必要人数を 配置																								
区分\年度	H23	H24	H25																								
延人数	12人	20人	84人																								
07	(7) 医療安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> 医療の質および安全の確保のため、インシデント及びアクシデント案件があった場合は、各部署にてRCA（根本原因分析）実施を徹底する。 医療安全部会、医療安全管理委員会などにおいてインシデント、アクシデントレポートの集積及び分析を行い、分析結果や検討内容を全職員に周知徹底する。 専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援し、医療安全に関する活動を充実する。 医療安全に関する院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を積極的に開催するとともに欠席者に対しても研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。 昨年度から取り組んでいる患者サポート体制カンファレンスを継続して実施する。 	(7) 医療安全対策の充実 <ul style="list-style-type: none"> 各部署での医療安全に対する意識が高まり、インシデント報告数が増加した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>月平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>265件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>289件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 報告されたインシデント事例は、優先順位を考え、カンファレンスを開催し、安全対策の検討と強化を図った。 アクシデント事例に関しては、RCA分析やSHELL分析を行うことで再発防止に努めた。 【インシデント・アクシデント件数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,642件</td> <td>3,169件</td> <td>3,473件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>21件</td> <td>17件</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,663件</td> <td>3,186件</td> <td>3,495件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 定期的で開催している医療安全部会、医療安全管理委員会において、共有すべきインシデント事例を取り上げ2～4事例/月を検討し、管理会議 	年度	月平均	H24	265件	H25	289件	区分\年度	H23	H24	H25	インシデント	2,642件	3,169件	3,473件	アクシデント	21件	17件	22件	合計	2,663件	3,186件	3,495件	III	評価の検討 III→IV インシデントの件数が引き続き増加しており、医療安全対策の充実に大きく貢献したものと考えられ、年度計画以上に実施していると判断する。 IIIのまま インシデントの件数は増加しているものの、年度計画を上回るとはいえない。	IV インシデントの件数が引き続き増加しており、医療安全対策の充実に大きく貢献したものと評価できる。
年度	月平均																										
H24	265件																										
H25	289件																										
区分\年度	H23	H24	H25																								
インシデント	2,642件	3,169件	3,473件																								
アクシデント	21件	17件	22件																								
合計	2,663件	3,186件	3,495件																								

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
		<p>や医局会、看護部委員会で注意喚起を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月24日～11月30日の医療安全推進週間には、「患者誤認防止、誤薬防止の啓発週間」として入院中の患者143名、病院職員712名にアンケート調査を実施した。 医療安全研修会については、全員参加を目標に年2回開催し、延べ911人の出席者があった。欠席者には、研修内容を録画したDVDビデオを視聴させた。 <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月12日</td> <td>患者はなぜ怒る、クレーム・暴力の対応</td> <td>482人</td> </tr> <tr> <td>1月30日</td> <td>麻薬についてのお話し</td> <td>429人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	9月12日	患者はなぜ怒る、クレーム・暴力の対応	482人	1月30日	麻薬についてのお話し	429人														
開催日	テーマ	参加人数																							
9月12日	患者はなぜ怒る、クレーム・暴力の対応	482人																							
1月30日	麻薬についてのお話し	429人																							
17	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来待ち合いスペースに設置してある「医療連携登録医情報コーナー」を活用し、登録医の情報を提供するとともに、登録医等への訪問活動を実施する。 当院が急性期病院であることを地域の医療機関や住民に周知することにより、紹介率60%、逆紹介率70%以上の恒常的な確保を目指す。 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 高度医療機器、開放病床の利用について医療連携登録医等の関係機関への訪問活動等によりPRを行い利用拡大に努める。 	<p>(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化により、紹介率が向上した。 平成25年度の紹介率については、対前年比で4.3%増と大きく増え、紹介患者の件数も、1,180件の増加となった。 <p>【紹介率・逆紹介率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.7%</td> <td>62.6%</td> <td>65.3%</td> </tr> <tr> <td>紹介件数</td> <td>17,215件</td> <td>18,053件</td> <td>19,233件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>83.8%</td> <td>82.8%</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介件数</td> <td>20,842件</td> <td>21,023件</td> <td>20,698件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> CT、MRIなどの検査枠の見直しをし、さらに開業医への訪問活動に中央放射線部の職員が同行して、CT、MRIなどの検査依頼を行った。 高度医療機器予約数については、増加となった。高度医療機器の予約状況の分析を行い、さらなる利便性の向上を図り、連携病院の医師が利用しや 	区分\年度	H23	H24	H25	紹介率	62.7%	62.6%	65.3%	紹介件数	17,215件	18,053件	19,233件	逆紹介率	83.8%	82.8%	80.8%	逆紹介件数	20,842件	21,023件	20,698件	IV		<p>紹介率・逆紹介率ともに高い水準で維持されており、近隣の医療機関との役割分担、連携強化を推進したことは高く評価できる。紹介率の維持・向上にさらに努力されたい。</p>
区分\年度	H23	H24	H25																						
紹介率	62.7%	62.6%	65.3%																						
紹介件数	17,215件	18,053件	19,233件																						
逆紹介率	83.8%	82.8%	80.8%																						
逆紹介件数	20,842件	21,023件	20,698件																						

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																								
		<p>すい環境づくりを行った。</p> <p>【高度医療機器利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>610件</td> <td>534件</td> <td>582件</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>548件</td> <td>478件</td> <td>537件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 開放病床の利用に関しても、かかりつけ医の意見を聴取しながら、さらなる利便性の向上を目指した結果、昨年度の9件から34件と増加した。</p> <p>【開放型病床利用の年度比較】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医科</td> <td>4件</td> <td>0件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>10件</td> <td>9件</td> <td>20件</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	CT	610件	534件	582件	MR I	548件	478件	537件	区分\年度	H23	H24	H25	医科	4件	0件	14件	歯科	10件	9件	20件			
区分\年度	H23	H24	H25																										
CT	610件	534件	582件																										
MR I	548件	478件	537件																										
区分\年度	H23	H24	H25																										
医科	4件	0件	14件																										
歯科	10件	9件	20件																										
19	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談室会の定例開催などにより退院調整看護師と、医療相談員との緊密な連携を強化し、退院支援の充実を図る。 退院前に医師や地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携に努める。 	<p>(3) 地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談室会を1週間に1度行うよう定例化したことで退院調整看護師・各相談員が情報を共有し、連携を強化できた。 退院前に医師、看護師、地域のケアマネージャーを交えた合同カンファレンスを開催し、地域との連携を強化するとともに、安全・安楽に在宅療養できるよう支援を行った。 <p>【合同カンファレンスの実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>231件</td> <td>351件</td> <td>431件</td> </tr> </tbody> </table>	H23	H24	H25	231件	351件	431件	IV		<p>合同カンファレンスの実績が順調に上がっており、地域の介護・福祉機関などの連携が有効に機能していることは高く評価できる。</p>																		
H23	H24	H25																											
231件	351件	431件																											
23	<p>(4) がん診療拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）の本格運用を開始する。 昨年度、運用を開始した県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、運用の拡大を図る。 がん治療に関する臨床指標（クリニカルインディケーター）を整備・充実する。 	<p>(4) がん診療拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療システム（ノバリスTx）の担当する医療スタッフのスキルアップ支援や地域医療従事者等へのPR活動を行い、4月に本格稼働を行った。 患者数 154人（延べ 3,493件） 県内統一のがん地域連携クリニカルパスについて、地域医療機関への運用推進を行った。 	III	<p>評価の検討</p> <p>III→IV</p> <p>高精度放射線治療システムの稼働に伴い、がん患者の受け入れが増加しており、がん診療拠点として大いに役割を果たしている。</p>	<p>IV</p> <p>がん患者の受け入れがかなり増加するとともに、高精度放射線治療システムの本格稼働によりがん診療拠点の役割を果たし、併せてがん治療における地域医療機関との連携に努められており評価できる。</p>																								

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																				
		<ul style="list-style-type: none"> 院内外の講演会や研修会において、がん治療に関するテーマを積極的に取り上げ、情報発信を行った。 <p>【がん患者（入院）等の状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者数</td> <td>1,274人</td> <td>1,620人</td> <td>2,338人</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>1,025件</td> <td>1,064件</td> <td>1,159件</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>779件</td> <td>979件</td> <td>1,012件</td> </tr> <tr> <td>放射線施行回数</td> <td>3,177件</td> <td>3,535件</td> <td>3,115件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> パスコーディネーターによるパス対象者の抽出し、医師への照会を行いながらパス適用者拡大に取り組んだ。 がんパス件数 平成24年度 5件 平成25年度 9件 	項目\年度	H23	H24	H25	患者数	1,274人	1,620人	2,338人	手術件数	1,025件	1,064件	1,159件	化学療法件数	779件	979件	1,012件	放射線施行回数	3,177件	3,535件	3,115件		<p>Ⅲのまま</p> <p>年度計画どおり、がん診療拠点として役割を果たしている。</p>	
項目\年度	H23	H24	H25																						
患者数	1,274人	1,620人	2,338人																						
手術件数	1,025件	1,064件	1,159件																						
化学療法件数	779件	979件	1,012件																						
放射線施行回数	3,177件	3,535件	3,115件																						
24	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核、感染症病棟について引き続き、受け入れ体制を維持する。 精神科病棟の実績を検証し、より良い運用に努める。 精神、結核医療について院内外の理解を深めるための各種研修、啓蒙活動を行う。 	<p>(5) 精神科医療・感染症医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核治療中の精神病状を呈した患者の受け入れを行った。今後も引き続き体制維持をした。 行動制限最小化委員会を毎月開催し、患者の病状改善、行動制限の状況の適切性及び行動制限最小化のための検討を行った。 NHK名古屋放送局の番組ナビゲーション「心を救って命を守れ ～精神科“連携医療”の可能性～」にて、当院精神科部長が出演し、総合病院の救急の現場などに精神科の医師が参加する連携医療の可能性と課題の啓蒙を行った。 当院医師及び外部講師による結核を含めた感染症対策の研修会を、院内職員及び院外医療関係機関を対象に2回実施した。 8月19・20日 参加 456人 11月19日 参加 421人 ITC通信を隔月発行し、院内感染防止などの啓蒙を行った。 	Ⅲ	<p>評価の検討</p> <p>Ⅲ→Ⅳ</p> <p>引き続き、患者の受け入れ体制を維持し、かつ実績が大きく増加しており、年度計画以上に取り組んでいる。</p> <p>Ⅲのまま</p> <p>引き続き受け入れ体制を維持するなど、年度計画どおりに実施している。</p>	<p>「Ⅳ」</p> <p>引き続き患者の受け入れ体制を維持し、かつ実績が大きく増加しており評価できる。</p>																				

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
		【患者の受け入れ実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>結核、感染症</td> <td>2,358人</td> <td>1,933人</td> <td>2,283人</td> </tr> <tr> <td>精神科</td> <td>一人</td> <td>5,400人</td> <td>7,274人</td> </tr> </tbody> </table>	病棟\年度	H23	H24	H25	結核、感染症	2,358人	1,933人	2,283人	精神科	一人	5,400人	7,274人			
病棟\年度	H23	H24	H25														
結核、感染症	2,358人	1,933人	2,283人														
精神科	一人	5,400人	7,274人														
25	(6) 緩和ケア ・ 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受入れに努め、入院患者の増加を図る。 ・ 在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を通じ、地域全体の医療従事者のスキルアップを図るとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの緊密な連携を推進する。	(6) 緩和ケア ・ 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受入れに努め、入院患者のさらなる増加を図った。 【緩和ケアの患者動向】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>3,777人</td> <td>3,981人</td> <td>4,077人</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>101人</td> <td>138人</td> <td>132人</td> </tr> </tbody> </table> ・ 在宅緩和ケア体制構築のため、講演会、研修会、勉強会を通じ、地域全体の医療従事者のスキルアップを図るとともに診療所・訪問看護ステーション・ケアマネジャーなどとの緊密な連携を推進した。 緩和ケア市民公開講座 6/29 緩和ケア講演会 5/16、11/14 緩和ケア研修会 (医師対象) 9/7、9/8 緩和ケア勉強会 4/11、7/11、8/8、10/10、12/12、1/9、2/7、3/13の全8回 東部地域緩和ケア研究会 6/15、11/16	区分\年度	H23	H24	H25	入院患者数	3,777人	3,981人	4,077人	外来患者数	101人	138人	132人	III	【評価の検討】 III→IV 緩和ケア病棟の受け入れで、在宅生活の継続が成り立っており、その成果は評価できる。 【IIIのまま】 緩和ケア病棟入院患者の積極的な受入れに努めており、年度計画どおりに実施している。	【III】 緩和ケア病棟入院患者を年度計画どおりに受け入れている。がん患者等の緩和ケア病棟への受け入れにより、在宅生活への継続に寄与しており、その成果は評価できる。
区分\年度	H23	H24	H25														
入院患者数	3,777人	3,981人	4,077人														
外来患者数	101人	138人	132人														
36	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 ・ 国民健康保険上矢作病院に対し、定期的な医師の派遣支援を継続する。 ・ へき地医療に関しては、岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、随時医師の派遣を行う。	(2) 医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援 ・ 国民健康保険上矢作病院へ医師を週1日 (当直業務を含む) 延べ53人、研修医を1ヶ月に1名ずつ4ヶ月間派遣をした。 ・ 岐阜県へき地医療支援機構の求めに応じ、国民健康保険蛭川診療所へ、5日間、各1名の医師を派遣した。 ・ 中津川市民病院からの依頼に応じ、10/1 から毎週木曜日に、医師 (脳神経外科) 1名 (2名で隔週交代) を派遣した。	IV		中津川市民病院への人的支援を行うなど、東濃地域のへき地医療に貢献している。												

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)																	
		【他の医療機関への人的支援の状況】(延べ日数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先 医療機関名</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国保上矢作病院</td> <td>100日</td> <td>114日</td> <td>106日</td> </tr> <tr> <td>国保蛸川診療所</td> <td>一日</td> <td>4日</td> <td>5日</td> </tr> <tr> <td>中津川市民病院</td> <td>一日</td> <td>一日</td> <td>24日</td> </tr> </tbody> </table>		派遣先 医療機関名	H23	H24	H25	国保上矢作病院	100日	114日	106日	国保蛸川診療所	一日	4日	5日	中津川市民病院	一日	一日	24日			
派遣先 医療機関名	H23	H24	H25																			
国保上矢作病院	100日	114日	106日																			
国保蛸川診療所	一日	4日	5日																			
中津川市民病院	一日	一日	24日																			
45	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師を中心とした希望者に対し、時差出勤や短時間勤務などの利用を進め、勤務の負担軽減を図ることで、ワークライフバランスの推進を図る。	(5) 時差出勤制度の導入 ・ 女性医師3名に短時間勤務制度(週20時間、30時間)を適用し、ワークライフバランスを支援し、女性医師の離職防止を図った。	III		柔軟な勤務体制を導入するなど女性医師の支援について取り組んでいるが、さらなる努力を期待したい。																	
46	(1) 弾力的運用の実施 ・ 昨年度から開始したリハビリテーション科の土曜診療を継続し、治療効果が期待できるリハビリテーションを行う。 ・ 夜間専従看護師の配置、短時間労働制の実施職場復帰支援プログラムの実施などにより、職員の負担軽減や柔軟な職員配置を行う。	(1) 弾力的運用の実施 ・ リハビリテーションの土曜日診療により、急性期・週末入院患者のリハビリが充実し、平均在院日数の短縮などに繋がった。 ・ 看護体制の強化のため以下の取り組みを行った。 ①夜勤専従看護師の配置 救命救急センター及び救急外来にかかる夜勤専従看護師(非常勤職員)の制度化を行い、救命救急センターに1名を採用した。 また、正規職員においても、職員の意見を十分に汲み取りながら勤務表の作成を行った。 ②短時間就労制の実施 働き手のニーズに合わせ週1回、1日1時間以上の勤務を提案し、週20時間未満の勤務をしているパート職員が10名在職している。 ③職場復帰支援プログラムの実施 復帰に不安を抱えている離職者のための託児付き復帰支援制度をにより、新たに14名の非常勤看護師を採用した。(平成25年度末時点 91名) ・ 地域医療連携推進協議会を年4回開催し、地域内の医療関係者等から意見聴取を行った。また、登録医を中心に訪問活動を実施し、医療ニーズの	III		様々な勤務体系や柔軟な職員配置などにより、細かい労務管理ができています。																	

項目 No.	H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
		把握に努めた。 【地域医療連携推進協議会開催実績】 第1回 (5/24)、第2回 (8/29)、第3回 (12/10)、 第4回 (3/11) 【登録医等への訪問実績】 88施設															
55	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。	医療連携の強化による患者数の増加や診療単価の増、平均在院日数の短縮などによる医業収益の増とともに価格交渉や契約方法の見直しなどの経費節減の努力によって、経常収支比率は104.0%、職員給与費対医業収益比率は49.6%と計画を達成した。 【経常収支比率・職員給与費対医業収益比率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>102.0%</td> <td>105.8%</td> <td>104.0%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>51.5%</td> <td>49.7%</td> <td>49.6%</td> </tr> </tbody> </table>	区分\年度	H23	H24	H25	経常収支	102.0%	105.8%	104.0%	職員給与費	51.5%	49.7%	49.6%	IV		経常収支比率が100%を大きく上回っているなど、年度計画を達成した経営努力は評価できる。
区分\年度	H23	H24	H25														
経常収支	102.0%	105.8%	104.0%														
職員給与費	51.5%	49.7%	49.6%														
58	(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努める。 ・ 就職ガイダンスについて、より看護師確保に効果的なガイダンスを選定し参加するとともに、学校訪問等を実施する。 ・ 継続的にインターネットや、新聞紙面への広告掲載、折込チラシ等、各種広報媒体を活用した募集活動を実施する。 ・ 高校生を対象としたふれあい看護体験を実施する。 ・ 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用を推進する。	(3) 7対1看護体制の導入のため、新規採用者の積極的な受け入れと離職防止に努め、必要な職員数を確保し、看護師の就労環境の整備に努めた。 ・ 就職ガイダンス (一般) SMS、中日アドレップ、マイナビ ・ 就職ガイダンス (学内開催) 中京学院大学、岐阜県立看護大学 ・ 広報媒体を利用した募集活動 新聞広告 : 東濃新報 6、8、10、1月号 : 中日新聞 9/10(火)、9/11(水) 折込チラシ: 中日新聞朝刊 9/15 (日) ・ ふれあい看護体験 7月26日開催 参加高校生 50人 【育児部分休業制度活用人数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5人</td> <td>7人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table>	H23	H24	H25	5人	7人	12人	III		7対1看護の導入に向けて引き続き努力されたい。						
H23	H24	H25															
5人	7人	12人															